



初めまして新任です!



校長 原 修司



校長 伊藤 茂

この4月に源池小学校に着任いたしました。素直で元気いっぱいな子どもたちとの出会いに感謝する日々です。また、地域に支えられ、子どもたちが安心して生活できていることを強く実感しております。

伝統ある源池小学校で、地域を愛し、地域を誇りに思える子どもたちを育てていきたいと思っております。

地域の皆様にご支援をいただきながら、皆様とのつながりを大切にし、心の拠り所となる学校になるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新しく清水小学校校長として着任させていただきました。微力ではありますが、清水小学校の発展のために精一杯取り組んでいきたいと考えております。本校は、本年度七十周年を迎えます。新型コロナウイルスのため、様々な制限の中進めていかなければなりません。できることを考え、一生懸命取り組んでいきたいと思えます。地域の皆様にも、ご支援をいただくとあるかもしれません。その際にはよろしくお願いたします。

本年度から第三地区生活支援員になりました四ツ谷町在住の三澤和代です。松本市では、令和元年度か



三澤 和代

● 地区生活支援員



所長 北原 穰

● 東部交番

松本市東部交番は、昭和59年4月から業務開始され、イオンモール松本店開店に伴う道路拡幅により、令和元年11月から現在の場所に移転新築されました。

交番勤務は、警察学校卒業直後の配属以来であり、25年ぶりとなります。また、今年からは大手交番との掛け持ち所長のため、ほぼ分からないことだらけで仕事は2倍です。しかし、警察学校卒業当時に思い出しながら、若い所員の足を引っ張らないよう頑張りたいと思えます。

令和四年度にかけて順次各地に地区生活支援員を配置しております。高齢者の日常生活の困りごとと住民の皆さんの支え合い活動(地域資源)を結びつける役割があります。

そのために民生児童委員さんを始め地域の皆様のご協力と力を私に貸してください。よろしくお願いたします。

日常生活の困りごとは、例えば「買い物、通院したいけど遠くまでいけないなあ」「ゴミ出し、草取りができないなあ」「一人暮らしで話す相手がいなくて寂しいなあ」「最近転びやすくなってるなあ」など様々です。地域に結びつける支え合いの活動がなければ、活動の仕組みづくりもありません。

高齢者の多様な生き方に寄り添った支援の体制づくりは終わらなき旅のようなものなので、地域住民の皆様と一緒に楽しみながら実践していきたいと思えます。

同時に世代を超えた交流の場やイベントも企画開催できたらいいなと思っております。

コロナ禍ではありますが、少しでも地域の方々を知って交流の場を作り、顔の見える関係づくりから始め、少しずつ信頼関係を築き上げたいと思っております。向こう三軒両隣。そんな地域になるように頑張りたいと思っております。



館長 中嶋 岳大

● あがたの森文化会館



所長 北平 知子

● トライあい・松本



館長 松島 香枝子

● あがた児童センター



令和3年度 町会長紹介

第三地区の町会マップです。写真と名前はそれぞれの町会長さんです。



第三地区連合町会長あいさつ



第三地区町会連合会
会長
熊谷 武久

緑が鮮やかな清々しい季節となりました。地区の皆様方には日頃町会連合会の地区運営に対するご理解

とご協力に心から感謝申しあげます。さて、コロナウイルス感染拡大が私たちの日常生活や地域経済に深刻な影響を及ぼしています。また、昨年度は地区行事等の多くが中止となり、住民同士のコミュニケーション不足は否めません。地区としては少子高齢化が進む中、安全で安心な街を目指して地域活動を推進してまいります。地域の皆さん、コロナに感染しないよういろいろな状況を把握しながら工夫をし、新しい生活様式の中で頑張りましょう。本年も変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

令和3年度館報編集委員

◎取材などにお伺いしましたらご協力をお願いします。

- ◆ 委員長
降旗 都子 (四ツ谷東)
- ◆ 副委員長
武井 厚 (泉町南)
- ◆ 委員
町会長会 手塚 勝美 (泉町北)
町内公民館長会 上條 恒嗣 (泉町北)
民生・児童委員協議会 西原 政子 (金山町)
育成会わかばの会 谷口 陽子 (四ツ谷町)



湧き水

新年度がスタートしました。昨年度はコロナ禍の影響で大学の入学式は中止、授業はほぼオンライン、全く予想もしていなかった事態に。一度も大学の門をくぐることなく一年が終わった学生も少なくありません。

心機一転、棒に振った？一年を取り戻すかの様に新学期に思いを巡らせていた矢先、まさかの第四波。またしてもオンライン授業の決定で、やるせない気持ちでいっぱいになりました。

せっかくの桜も晴れ晴れと眺めることができずにいた四月、松本にオリンピックの聖火がやってきました。なかなかない機会だと思いい見に行つたのですが、色々な演出もあり、いつの間にかワクワクした気持ちで聖火ランナーを応援していました。この久しぶりのワクワクで沈んでいた気持ちが少し元気になりました。オリンピック等の開催については賛否両論かと思ひます。正直、私はよく分かりません。ただこの日の帰り道、満開の夜桜を弾むような気持ちで眺めたのは、私だけではなかったように思います。

(谷口 陽子)